



株式会社 松屋フーズ

〒177-0042 東京都練馬区下石神井4-1-7
TEL : 03 (3904) 1121 (代)
http://www.matsuyafoods.co.jp

郵便はがき

1 7 7 8 7 9 0

料金受取人払



差出有効期間
平成16年6月
30日まで有効

切手不要

(受取人)

東京都練馬区下石神井4-1-7

株式会社松屋フーズ 総務部 行



氏 名

住 所

(都・道・府・県)

性 別 男・女

年齢 () 歳

株式投資歴 a. 3年未満 b. 3年以上10年未満

c. 10年以上20年未満 d. 20年以上

前回アンケートにお答えいただきましたか。 a. はい b. いいえ

職 業

株主メモ

決 算 期 毎年3月31日
定 時 株 主 総 会 毎年6月下旬
上 記 基 準 日 毎年3月31日
その他必要のあるときは、あらかじめ公告
して臨時に基準日を定めます。

配当金受領株主確定日
利 益 配 当 金 3月31日
中 間 配 当 金 9月30日
公 告 掲 載 新 聞 日本経済新聞
名 義 書 換 代 理 人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社
同 事 務 取 扱 場 所 東京都千代田区丸の内一丁目4番4号
住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵 便 物 送 付 先) 〒183-8701東京都府中市日鋼町1番10
(電 話 照 会 先) 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(住所変更等用紙のご請求) ☎ 0120-175-417
(その他のご照会) ☎ 0120-176-417
同 取 次 所 住友信託銀行株式会社
本店及び全国各支店
1 単元の株式の数 100株

当社は決算公告に代えて、貸借対照表ならびに損益計算書を
当社のホームページ
<http://www.matsuyafoods.co.jp/ir/index.html>
に掲載しております。



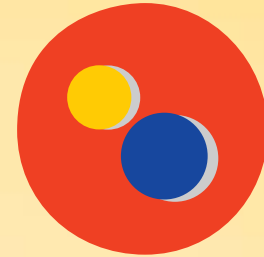
古紙配合率100%再生紙を使用



株式会社 松屋フーズ

松屋

第29期 中間事業報告書
2003年4月1日から2003年9月30日まで



[表紙写真]
牛焼肉とハンバーグのコンビ定食と
和光白子店 (埼玉県)

外食不況の中、当中間期は増収増益を確保することができました。

Q 当中間期の業績はいかがでしたか。

A 外食産業を取り巻く経営環境は、予想以上に厳しくなってきたというのが実感です。チェーン展開をしている大手各社は、数社を除いて軒並み既存店の前年割れ状態が続いており、中には売上の前年比2桁マイナスを余儀なくされているケースも見受けられます。当社でも、当初計画では既存店で前年比マイナス3%と設定し、新店を含む全店での成長を目指すという計画を立てておりました。この計画を達

成するため、当中間期は新メニューを積極的に投入し、ご来店されるお客様の増加とお客様1人当たりの平均単価アップを目指してまいりました。しかし、お客様単価は前年比で上昇したものの、入客数の増加には至らず、残念ながら既存店の売上は当初計画(前年比マイナス3%)をクリアすることができませんでした(実績は前年比マイナス3.9%)。

しかし、新メニュー戦略と販売努力で、当中間期は、売上高につきましては、店舗数の増加もあり、連結ベースで前年同期比で8.9%の増収を確保することができました。また、利益面でも原価率低減に努めたほか、販管費抑制にも力を入れ、前年同期比で28.5%の経常増益を確保することができました。



代表取締役社長
かわら 利夫



Q 新メニューに対するお客様の評判はいかがでしたか。

A 新メニューとしては、4月に「鶏つくね定食」、5月に「サラダキムチ牛めし」、「オリジナル牛焼カレー」、6月に夕方時間帯限定の「牛焼肉とハンバーグのコンビ定食」、7月に「牛しゃぶおろし定食」、8月に「レバー焼定食」を導入いたしました。また、並行して7月~8月には毎年恒例の「夏のカレーフェア」を実施し、「炭火焼チキンカレー」、「ロールキャベツカレー」などの期間限定メニューの販売も実施いたしました。おかげさまで、

お客様からはすべての新メニューについてご好評を賜ることができました。全体として商品サイクルが短くなっていることもあり、お客様のニーズを第一に考えて、豊富な選択肢をご提供する意味からも、積極的に新メニューを導入してまいります。10月からは季節感を大切に焼魚と野菜中心の「和定食」を導入しておりますので、シニアや女性のお客様にぜひご賞味いただきたいと思っています。

Q 出店についての現状と今後の見通しはいかがでしょうか。

A 当中間期における出店数は、39店舗(退店は2店舗)と概ね計画通りとなり、9月末現在の店舗数は559店舗となりました。当中間期の特徴は、出店地域の拡大にあります。8月には宮城県仙台市内に1店舗、9月には新潟県新潟市内に1店舗をオープンいたしました。

出店形態については、お客様のニーズや出店地域の特性を考え、弁当や惣菜をテイクアウトできる店舗やテーブル席を設けた店舗など、新しい

形態の店舗を出店しております。今後も、お客様にもっとお食事を楽しんでいただくために、メニューのバリエーションの他に、「食の空間」の提案といった企画を取り入れた出店を行っていきたく考えております。

また、マニュアルの運用をより徹底し、あるべき店舗の姿を具現化したモデル店舗を設置するなど、サービスの向上にも取り組んでおります。

Q 今後の更なる業容拡大に向けての取り組み、収益性の更なる向上に向けての取り組みなどについてお聞かせください。

A まず、業容の拡大に向けた生産体制の整備ですが、中国山東省青島市に自社工場を建設する計画があります。当中間期にはSARS騒動などが勃発し、計画はやや遅れ気味ですが、既に土地の手当ても終わっており、来年度の工場稼働に向けて準備を進めております。また、国内では野菜加工を中心とした富士山工場(仮称)建設に向けて、静岡県富士宮市の工業団地内に土地を確保いたしました。この工場では、ミネラルをたっぷり含んだ良質の水がふんだんに使えることから、野菜類の鮮度アップも期待できます。稼働は来年の予定です。こうした加工工場の建設で、既存の嵐山工場は肉加工及び熱加工(カレー、各種ソース、タレ類の加工)の専用工場とすることができ、3工場体制で店舗数の更なる増加、新業態の開発並びに今後拡大させてい

たい弁当やサイドメニューの充実、外販事業への対応が完了いたします。また、ロジスティクス(物流)体制の整備も並行して行っております。さらに、IDC(インターネット・データ・センター)を中心にADSLを活用した店舗情報ネットワークの構築にも着手いたしました。これにより店舗と本部、工場を結びコンピュータネットワークの情報量の面で拡大、スピード面での大幅な改善が見込まれることになります。一方、収益性の向上という観点から、店舗における人件費の削減、食材ロスの削減につながる作業の「機械化」に取り組んでおります。自動飯盛機の導入店舗は現在10店舗程度ですが、繁忙店を中心に徐々に増加させていき、当期末までには70店舗程度への導入を予定しております。

Q 食の安全に対する取り組みについてお聞かせください。

A 今、松屋では、「おいさと(食の)安心・安全は同価値」と位置づけた、トレーサビリティシステムの構築に邁進しております。現在当社で扱う食材はすべて生産履歴などの把握ができるものばかりです。これまではこの点について社内情報として利用いたしておりましたが、今年度中にはお客様からのお問い合わせなどに対して間違いなくお答えできる体制ができる予定です。また、自社工場はもちろんですが、協力工場も含め、生産現場にもっとも近いところで食材を検査できる体制づくりにも取り組んでおります。松屋なら「おいしくて安心・安全」といったブランド力を、こうしたトレーサビリティシステムの導入を通じて確立していきたいと考えております。

Q 下期及び通期の見通しについてはいかがでしょうか。

A 下期の見通しですが、新規出店は61店舗を計画しております(通期で100店舗)。また、積極的な新メニューの投入も継続して行い、お客様の来店頻度を高めてまいりたいと考えております。こうした取り組みで、売上高は前期に引き続き2桁成長を目指します。一方、当社の主力食材である牛肉及び米の価格が高騰しており、決して予断を許す状況ではございません。しかし、こうした状況を甘受することなく、仕入からメニュー開発、販売促進など、すべての面にわたって知恵を絞り、お客様満足の追求はもちろんのこと、利益の確保にも努めてまいりたいと考えております。株主の皆様におかれましては、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

NEW 新 今期、10月までに登場した**松屋**のメニューを紹介します。

今期も前期に引き続いて、新メニューや値引き販売セールを積極的に展開しています。ほぼ月に1品のペースで新メニューを投入し、いつも新しいメニューでお客様をお待ちしております。今後も当社のメニュー展開にご期待ください。

<p>※販売は終了しております。</p> <p>4月4日登場</p>  <p>鶏つくね定食 ハンバーグ風の鶏つくねにテリヤキソースをかけて、和風テイストにこだわりました。</p>	<p>※販売は終了しております。</p> <p>5月1日登場</p>  <p>サラダキムチ牛めし キャベツとキュウリをサラダ感覚の美味しいキムチに仕上げ、牛めしの相性も抜群の一品です。</p>	<p>※販売は終了しております。</p> <p>5月13日登場</p>  <p>オリジナル牛焼カレー カレーの刺激的な辛さと牛焼肉のボリューム。ビーフのうまみが際立つ一品です。</p>	<p>※午後5時～翌朝5時までの時間限定のディナーメニューです。</p> <p>6月16日登場</p>  <p>牛焼肉とハンバーグのコンビ定食 人気の牛焼肉とハンバーグを同時に、さらに目玉焼きが付いたボリューム満点の定食です。</p>	<p>※販売は終了しております。</p> <p>7月16日登場</p>  <p>牛しゃぶおろし定食 たっぷりの牛しゃぶを野菜にのせて、おろしとポン酢でさっぱり味に。梅干と冷やっこを加えたさわやかな定食です。</p>
<p>※販売は終了しております。</p> <p>7月24日登場</p>  <p>つくねハンバーグカレー チキンカレーの辛さつつくねが絶妙の、ボリュームある一品です。</p>	<p>※販売は終了しております。</p> <p>8月5日登場</p>  <p>レバー焼定食 柔らかいレバーにピリ辛ソースをからめ、タマネギの歯ごたえがアクセントになった元気のでる一品です。</p>	<p>※販売は終了しております。</p> <p>10月10日登場</p>  <p>ハンバーグカレー 特製オリジナルカレーとオールビーハンバーグのおいしいコンビネーション。さらに目玉焼きを加えてボリューム満点です。</p>	<p>※お持ち帰りはできません。</p> <p>10月23日登場</p>  <p>和定食 脂の乗ったサバの塩焼に、野菜の煮物やひじき煮などの和惣菜を組み合わせた栄養バランスのとれた定食です。</p>	<p>※販売は終了しております。</p> <p>10月29日登場</p>  <p>唐揚げ丼 香ばしい唐揚げと、温泉玉子でボリューム満点。和風甘辛ダレがさらに味を引き立て、胡麻とりの香りが食欲を刺激します。</p>

仙台市、新潟市など新規出店地域を拡大。

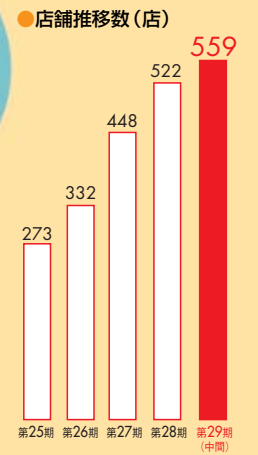
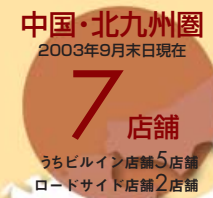
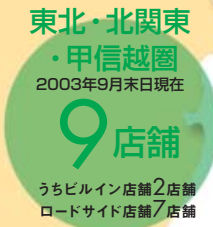
今期の新規出店の計画は100店舗を予定しており、当中間期においては出店地域を拡大して、新たに仙台市と新潟市に出店するなど39店舗を出店(退店2店舗)。2003年9月末日現在の店舗数は559店舗となりました。



仙台免許センター前店 (仙台市)



新潟駅前店 (新潟市)

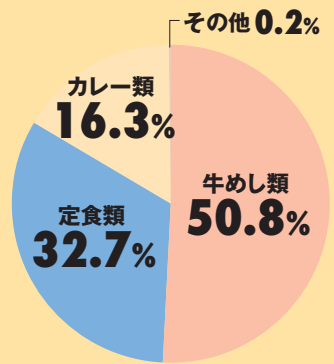


池袋東通り店 (東京都)



17号線与野店 (さいたま市)

商品別出食数構成比



(直営全店ベース)

SALE & FAIR

4月23日～30日 春のありがとうセール
4月23日から4月30日までの期間限定で「春のありがとうセール」を実施。松屋全店舗にて、牛めし、牛めしセット類の並盛…50円、大盛・特盛…30円の値引きを行いました。

7月1日～8月31日 夏のカレーフェア
松屋全店舗にて毎年恒例の「夏のカレーフェア」を開催しました。5月に登場した「オリジナル牛焼カレー」に続き、この夏限定の「炭火焼チキンカレー」と「ロールキャベツカレー」の新カレー2品、さらに「つくねハンバーグカレー」を加え、今年の夏をカレーで彩りました。
※販売は終了しております。



事業戦略 「メニュー展開」

事業戦略 「店舗展開」

こんな松屋もあります。 お近くにお越しの際にはお立ちよりください。

1 テイクアウト中心の店舗



東京、池袋にオープンした池袋東通り店では、「持ち帰り」のお客様を主たるターゲットとして、弁当メニューを充実させました。当店だけのオリジナル弁当メニューもラインアップしております。また、店内は「立ち食い」スペースを設けており、牛めし、カレーなどを食事することもできます。

当店だけの
オリジナル
弁当



カルビ焼肉弁当



幕の内三味弁当

2 テーブル席を多めに用意した ロードサイド型の店舗

郊外にある、ロードサイド型の店舗には、ファミリー層のお客様にも気軽にご利用いただけるよう、テーブル席の設置を推進しております。また、店舗の外観につきましても、従来の「ハコ型」から立体感のある楽しい食空間が想像できるようなデザインを一部店舗で導入しております。今後もロードサイド型店舗を中心に新たなデザインを取り入れ、幅広い客層のご支持を賜りたく考えております。



新デザイン店舗 和光白子店
(埼玉県和光市：2003年10月オープン)
外観及びテーブル席

立地開発企画部 ／市場調査部

新規出店の立地開発は私たちの仕事、 松屋フーズの更なる 店舗網拡大の要を握っています。

市場調査部では、マーケット情報などの各種データに基づくGISシステム(MATSUYA-GAMS)を用いて出店ポイントの選定及び売上予測を行っています。立地開発企画部では、市場調査部で収集した基礎データを基に、関係各部と協議の上出店の可否を判断し、実際の出店につなげていくのです。

1店舗の出店に係る投資額は概ね5千万円程度と高額なのですが、出店候補地は他の外食チェーンや物販チェーンなどと競合するケースも多く、投資判断は慎重かつ迅速に行うことが要求されます。

そのため、私たちは、子会社のMSD(松屋フーズ開発株式会社)と連携し、出店候補地を、机上で検討するだけでなく、実際に現地を調査し、出店地域の拡大に向けて、文字どおり日本全国を駆け回っている、というのが現状です。

新店の投資額は、年間100店以上の出店で50億円以上の規模にもなるため、責任は非常に重大ですが、松屋フーズの拡大を身をもって味わえるという醍醐味のある業務に携わっていることが私たちの誇りなのです。

株式会社エム・ピー・アイ

人事関係の庶務業務から 松屋フーズグループ全体の 全般的庶務業務に業容を拡大!!

当社の名前は、「松屋(M)パーソネル(P)インフォメーション(I)の頭文字を並べたものです。新卒/途中入社の子社員採用及びメンバー(店舗でのアルバイト従業員)採用の窓口業務を行っています。また、松屋フーズグループ全従業員の給与計算、福利厚生に関する業務など人事関係の庶務的作業も一手に引き受けています。さらに、本年10月からは、グループ各社に

は重複する業務がいろいろあったことから、これを一元化して効率を高める、という目標を実現するために人事関連業務に止まらず、庶務業務、システムメンテナンス業務なども含んだシェアードサービス業務も加わりました。グループ各社の間接業務を集中処理するよう進化したのです。これにより人員も増強し、業容は一層拡大いたしました。

連結財務諸表

●中間連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

資産の部			
科 目	当中間期 平成15年9月30日現在	前中間期 平成14年9月30日現在	前 期 平成15年3月31日現在
流動資産	7,697	8,468	7,942
固定資産	32,916	28,315	32,051
有形固定資産	18,985	14,876	18,421
無形固定資産	187	107	115
投資その他の資産	13,744	13,331	13,513
資産合計	40,614	36,783	39,993
負債の部			
流動負債	7,031	6,213	7,523
固定負債	6,307	5,846	6,262
負債合計	13,338	12,060	13,785
資本の部			
資本金	6,655	6,655	6,655
資本剰余金	6,963	6,963	6,963
利益剰余金	13,664	11,108	12,597
その他有価証券 評価差額金	△2	△1	△4
自己株式	△4	△2	△4
資本合計	27,276	24,723	26,207
負債・資本合計	40,614	36,783	39,993

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てています。

●中間連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当中間期 平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで	前中間期 平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで	前 期 平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで
売上高	26,207	24,073	50,725
売上原価	7,825	7,653	15,741
販売費及び一般管理費	15,444	14,141	29,190
営業利益	2,936	2,278	5,793
営業外収益	107	94	218
営業外費用	164	131	332
経常利益	2,880	2,241	5,678
特別利益	37	—	217
特別損失	103	210	328
税金等調整前中間(当期)純利益	2,813	2,030	5,567
法人税、住民税及び事業税	1,385	1,059	2,876
法人税等調整額	36	△108	△106
中間(当期)純利益	1,391	1,079	2,797

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てています。

●中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当中間期 平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで	前中間期 平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで	前 期 平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	2,423	3,174	8,514
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,620	△3,757	△9,709
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△333	934	1,431
IV 現金及び現金同等物の増減額	△530	352	237
V 現金及び現金同等物の期首残高	3,056	2,813	2,813
VI 合併による現金及び現金同等物の増加額	—	5	5
VII 現金及び現金同等物の期末(期末)残高	2,525	3,171	3,056

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てています。

単体財務諸表

●中間単体貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

資産の部			
科 目	当中間期 平成15年9月30日現在	前中間期 平成14年9月30日現在	前 期 平成15年3月31日現在
流動資産	7,137	8,007	7,390
固定資産	33,416	28,664	32,454
有形固定資産	18,492	14,245	17,864
無形固定資産	182	100	109
投資その他の資産	14,741	14,318	14,480
資産合計	40,553	36,671	39,844
負債の部			
流動負債	6,997	6,167	7,461
固定負債	6,277	5,824	6,236
負債合計	13,274	11,991	13,698
資本の部			
資本金	6,655	6,655	6,655
資本剰余金	6,963	6,963	6,963
利益剰余金	13,667	11,064	12,535
その他有価証券 評価差額金	△2	△1	△4
自己株式	△4	△2	△4
資本合計	27,278	24,680	26,146
負債・資本合計	40,553	36,671	39,844

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てています。

●中間単体損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当中間期 平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで	前中間期 平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで	前 期 平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで
売上高	26,170	24,050	50,660
売上原価	7,814	7,646	15,713
販売費及び一般管理費	15,543	14,171	29,293
営業利益	2,812	2,232	5,653
営業外収益	212	231	400
営業外費用	198	134	341
経常利益	2,827	2,329	5,712
特別利益	36	—	216
特別損失	104	219	335
税引前中間(当期)純利益	2,758	2,110	5,592
法人税、住民税及び事業税	1,314	1,012	2,771
法人税等調整額	0	△96	△72
中間(当期)純利益	1,443	1,194	2,893
前期繰越利益	693	342	342
中間配当額	—	—	228
中間(当期)未処分利益	2,136	1,537	3,008

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てています。

グループ会社

(株)エム・ティ・ティ

店舗の改装、改修等も含むメンテナンス業務

(株)エム・エル・エス

店舗等で使用するユニフォームのクリーニングや備品、消耗品の調達業務

(株)エム・ピー・アイ

松屋フーズグループの従業員採用及び人事関連業務

(株)エム・エム・シー・エー

店舗におけるオペレーション及びマネジメント力強化のための研修業務

松屋フーズ開発(株)

店舗に関わる立地開発・契約更新業務

松屋フーズ建設(株)

店舗の内装の設計・監理

青島松屋食品有限公司

中国での生産強化、品質管理、コスト管理業務を行う現地法人

※非連結子会社で持分法非適用会社

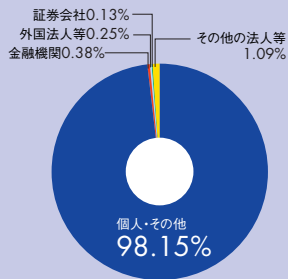
●株式の状況 (2003年9月30日現在)

会社が発行する株式の総数	70,000,000株
発行済株式総数	19,063,968株
株主数	12,449名

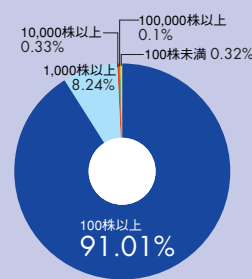
●大株主 (上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数 (株)	議決権比率 (%)
瓦 葺 利 夫 有限会社ティケイケイ	6,399,000	33.57
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口)	2,772,000	14.54
日本スタートラスト 信託銀行株式会社 (信託口)	1,089,700	5.72
瓦 葺 一 利	753,500	3.95
瓦 葺 香	649,300	3.41
商工組合中央金庫	518,400	2.72
資産管理サービス信託銀行 株式会社 (年金特金口)	362,500	1.90
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井アセット信託銀行再信託分・ 株式会社三井住友銀行退職給付信託口)	311,000	1.63
UFJ信託銀行株式会社	281,500	1.48

●所有者別分布状況



●所有株式数別分布状況



●会社概要 (2003年9月30日現在)

- 設立 1980年1月16日
- 資本金 6,655,932千円
- 代表取締役社長 瓦葺利夫
- 従業員数 1,017名
- 売上高 506億円 (第28期実績)
- 店舗数 559店
- 事業内容
 - ・牛めし定食店のチェーン
 - ・チキン亭事業
 - ・ラーメン事業
 - ・焼肉レストラン事業
 - ・フランチャイズ加盟店への食材等の販売及び経営指導

●事業所一覧 (2003年9月30日現在)

●本社	東京都練馬区下石神井4丁目1番7号
●工場	埼玉県比企郡嵐山町花見台4番3号
●店舗	
(直営店)	東京都 248店 埼玉県 51店 神奈川県 62店 千葉県 41店 大阪府 50店 京都府 11店 兵庫県 16店 愛知県 34店 静岡県 8店 岐阜県 2店 滋賀県 2店 奈良県 2店 和歌山県 2店 三重県 3店 福岡県 5店 茨城県 6店 岡山県 2店 群馬県 1店 宮城県 1店 新潟県 1店
	計548店
(FC店)	東京都 7店 大阪府 1店 神奈川県 2店 兵庫県 1店
	計11店
	合計559店

●役員一覧 (2003年9月30日現在)

代表取締役社長	か 瓦 葺 利 夫
専務取締役	か 瓦 葺 兼 芳
常務取締役	こ まつざき かつひろ
常務取締役	こ 小松崎 克 弘
取締役	くろ 黒 木 幹 生
常勤監査役	くま 駒 目 端 雄
監査役	にい 新 堀 順
監査役	ふじ 藤 の 木 清
	はま 濱 州

●株主優待制度のお知らせ

お好みのメニューをお楽しみください。
「株主様お食事ご優待券」1枚で1食、お召上がりになれます。通常メニューと同様に、お持ち帰りにもご利用できます。なお、お米(4kg)とのお引き換えもできます。お引き換えの方法につきましては、同封の「ご案内文」をご参照くださいませ。



●アンケートのご報告

第28期事業報告書のアンケートでは、多くの株主の皆様よりご回答をいただきました。その中から、代表的なご質問にお答えします。

Q魚関係の定食を出してほしい。
A従来より、魚メニューの開発に取り組んでまいりましたが、10月23日より、終日メニューとして「和定食」を全店に導入いたしました。焼き魚をメインにした定食です。どうぞご賞味くださいませ。

Q女性客が気軽に入れるようなお洒落な店をつかってほしいのだが。
A今回の中間事業報告書(5ページ)でもご紹介いたしましたように、最近の新店のデザインにつきましては、外観、内装ともに工夫をこらしております。お近くにお越しの際には是非お立ち寄りくださいませ。

【アンケートに関するお願い】
当社では、株主、投資家の皆様とのコミュニケーションを図るため、アンケートを実施させていただきたく存じます。お手数ではございますが、質問にお答えいただき、ご返函ください。ご協力お願いいたします。

●株主の皆様へアンケートのお願い

- 弊社の株式をどの位の期間保有されていますか。
a. 10年以上 b. 7年~10年 c. 5年~7年 d. 3年~5年
e. 1年~3年 f. 1年未満
- 今後の弊社株式についてどのような方針をお持ちですか。
a. 売却 b. 長期保有 c. 買い増し
また、上記方針を決定するための判断材料は何ですか。(複数回答可)
a. 株価 b. 配当 c. 将来計画 d. 業績
e. その他()
- 弊社「松屋」店舗をどの位の頻度でご利用いただいていますか。
(株主優待券でのご利用を除く)
a. 週1回以上 b. 月に数回程度 c. 半年に数回程度
d. ほとんど利用していない e. 利用経験無し
f. その他()
- 今回の中間事業報告書で、興味をもっていただいた内容は何か。(複数回答可)
a. 社長インタビュー b. 事業戦略(メニュー展開)
c. 事業戦略(店舗展開) d. トピックス e. 事業部紹介
f. グループ会社紹介 g. 財務諸表
h. その他()
- 巻頭の社長インタビューの中で、興味をもっていただいた内容は何か。(複数回答可)
a. 当中間期の業績について b. 新メニューについて
c. 出店について d. 今後の取り組みについて
e. 食の安全に対する取り組みについて f. 下期の見通しについて
g. 特になし
h. その他、ご意見があればお聞かせください。
()
- 事業報告書で掲載ご希望のテーマ、当社へのご意見ご要望をお聞かせください。
()

(キリトリ)

ご協力有難うございました。